

高齢者の消費生活を守る



今年に入り、一方的に健康食品などを送りつけ、料金を請求される被害が急増して、特に高齢者が多く狙われています。申し込んだ覚えがなく購入するつもりもなければきっぱり断り、お金は絶対に支払わないようにしましょう。万が一いったん契約してしまっても、法律で定められた期間内であれば、クーリング・オフ制度を利用して契約を解除するなど対処方法もあります。

おかしいなと思った時、被害にあった時はできるだけ早く、石川県消費生活支援センターや町の消費生活相談窓口（商工観光課）、地域包括支援センターなどへ相談してください。

認知症などにより判断能力が低下すると、財産管理が困難になったり、契約でトラブルに巻き込まれたりする危険性が高くなります。そのような人の財産や権利を保護し、支援をするのが成年後見制度です。成年後見人などに与えられた権限によって、本人に代わって契約を結んだり、取り消すことができます。制度を利用するためには、家庭裁判所へ申立てする必要があります。いざというとき、慌てず困らないように、さまざまな制度や対処法を知っておきたいものです。地域包括支援センターでは高齢者の生活や福祉についての相談を受け付けていますので、お気軽に相談してください。

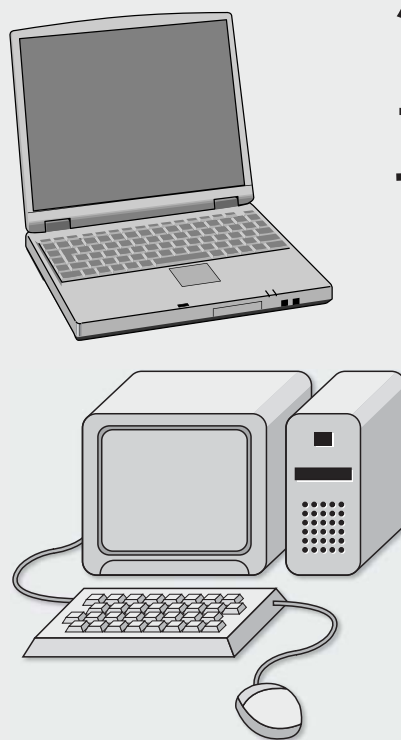
健康福祉課（地域包括支援センター）

☎ 32 - 9 1 3 2

商工観光課（消費生活相談窓口）

☎ 32 - 9 3 4 1

燃えないごみの収集日に パソコンが出せるよう なります。



9月から収集開始!!

- ① リサイクルセンターへ直接持ち込むことも可能です。
- ② 燃えないごみの回収かごに入りきらない大きさの物は、粗大ごみの時に出してください。（シールが必要）
- ③ 個人情報を守るため、パソコンに記録されている情報は消してください。

対 象

パソコン一式

デスクトップ型、ノート型など、型式は問いません。ディスプレイ（ブラウン管式、液晶式のいずれも可）についても同様です。

環境安全課 ☎ 32-9321

リサイクルセンター（クリンクルはくい） ☎ 27-1153

印鑑登録証（カード）の引き換えは済んでいますか？

手数料無料！！

平成 17 年の旧志賀町と旧富来町の合併に伴い、印鑑登録証（カード）の様式が変更されています。従前の古いカードは使用できませんので、まだ、新しい印鑑登録証（カード）に引き換えされていない人は、早めに引き換え手続きをお願いします。
 ※印鑑登録証明書など必要ない人は、印鑑登録を「廃止」することもできます。



◆引き換え手続きに必要なもの

お持ちいただくもの	本人が来庁	代理人が来庁
印鑑（認印）	○	○
印鑑登録証（カード）	○	○
本人確認ができるもの（※1）	本人名義のもの	申請者名義のもの
申請書兼受領書兼委任状（※2）	○	○

※1 「本人確認ができるもの」…

「運転免許証」など公的機関が発行した顔写真入りの身分証明書などをお持ちください。

※2 「申請書兼受領書兼委任状」…

住民課または富来支所の総合窓口にあります。「委任状」欄は、別世帯の人が窓口に来庁される場合に必要となります。また、委任状には、登録されている印鑑の押印が必要です。

☎住民課 戸籍住民窓口担当 ☎32-1111 富来支所 総合窓口 ☎42-1111

地域安全ニュース



夏休み中の少年非行防止

夏休みの解放感から、飲酒・喫煙・深夜徘徊などの非行に走ったりするほか、インターネットや携帯電話を使って出会い系サイトなど有害な情報を安易に利用し、犯罪に巻き込まれる傾向にあります。

●深夜外出させない

平成 24 年中、羽咋警察署が不良行為で補導した少年の 6 割が深夜徘徊でした。深夜徘徊した結果、非行を犯したり、犯罪の被害にあったりするケースも発生するので、深夜に子どもを外出させないようにしましょう。



●フィルタリングの利用を

出会い系サイトなど有害な情報の利用を防ぐ方法として、フィルタリングがあります。フィルタリングとは有害な情報を閲覧できなくするアクセス制限のことです。青少年の携帯電話には原則としてフィルタリングサービスを利用するよう法律で定められています。詳しい情報は、各プロバイダやインターネット協会、携帯電話会社にお問い合わせください。

深夜徘徊、暴走行為を行っている子どもたちを見かけたら、すぐに羽咋警察署（TEL 22-0110）に電話をお願いします。

羽咋警察署・羽咋郡市防犯協会連合会（☎ 22-4970）

旧福浦灯台と共にPR

夏の機具岩ライトアップ復活

富来七海の観光名所「機具岩」と福浦港の「旧福浦灯台」が、夜間にライトアップされています。これは北陸新幹線金沢開業に向けて町の観光名所をPRし、夏期シーズンの魅力をアップする取り組みです。

機具岩の夏のライトアップは3年振りで、美しい自然の造形が闇夜に浮かび上がっています。

現存する日本最古の木造灯台である旧福浦灯台は、映画「リトル・マエストロ」の撮影場所にもなり、昨年12月に点灯が始まりました。

ライトアップは、どちらも7月1日から9月30日までの期間、機具岩が日没から21時まで、旧福浦灯台が19時から21時まで行っています。



▲▶暗闇に美しく浮かび上がる夏の機具岩(右上)と旧福浦灯台(右)



団体・個人で優勝した児童たち

志賀町子ども会相撲大会

団体戦で富来小学校B制す

第35回志賀町子ども会相撲大会が、6月30日(日)に土田小学校で行われました。保護者らの声援を受け、2年生から6年生の子どもたちが熱戦を繰り広げました。

町内8小学校の32チームが熱戦を繰り広げ、予選リーグのあと上位16チームによる決勝トーナメントを行いました。団体は富来B(成瀬光留・大磨優人・奥田琢朗)が優勝しました。

個人男子6年は落合優大君(富来小)、個人女子5・6年は曾原優子さん(富来小)が制しました。

第34回志賀町自衛消防隊操法大会

初期消火に必要な消防行動を競う

7月7日(日)に志賀町防災公園で、町内の地域や企業などが参加する自衛消防隊操法大会が行われました。

大会には、地域や企業の自警団や自衛消防隊の11隊12チームが参加しました。5人1組が小型動力ポンプを使い、迅速な動作と、放水開始から消火までの時間を競いました。大会の成績は次のとおりです。

優勝：大念寺自警団 準優勝：末吉自警団

敢闘賞：北吉田自警団、志賀原子力発電所自衛消防隊B、志賀原子力発電所自衛消防隊A

団体功労賞(30年連続出場)：今市自警団



火点に向けて放水する自衛消防隊員



打ち解けた様子で授業を受ける高浜小学校と土田小学校の児童

高浜小学校・土田小学校

小学校統合前に合同授業

6月26日(水)、第1回小小連携授業が行われました。これは平成28年度に志賀地域の全7小学校が1校に統合されることや卒業後同じ中学校に進学することを踏まえ、新しい環境に児童がとけ込めるよう高浜小学校舎で他校の児童と共に授業を行う取り組みです。

今回は高浜小学校の5年生26人と土田小学校の8人の児童が机を並べて国語の授業を受け、親交を深めました。最初は緊張した様子でしたが、班ごとの話し合いでは、打ち解けた様子を見せ、積極的に手を挙げて発表をしていました。授業終了後は、お互いに握手をして別れました。

3人の人権アドバイザー

人権擁護委員委嘱状伝達式

7月8日(月)に法務大臣の人権擁護委員委嘱状伝達式が行われました。伝達式には、障子口文雄さん(牛ヶ首・5期目)、能登正人さん(上棚・5期目)、山崎豊治さん(倉垣・2期目)の3人に委嘱状が交付されました。

小泉町長は、「今回委嘱された3人の皆さんには、町民のよきアドバイザーとして、地域に密着した活動をしてください」と激励しました。

委嘱された3人は、町の総合相談で相談員を務めたり、人権擁護の街頭啓発などを行います。



今回委嘱された人権擁護委員の皆さん



気持ちいい水の感触に歓声を上げる園児たち

とぎ保育園のプール開き

新しいプールに歓声

7月10日(水)、とぎ保育園でプール開きが行われました。106人の児童が水着姿でラジオ体操をし、プールでの諸注意を聞いた後、プール開き式のテープカットをしました。

昨年までは、年長児が富来B&G海洋センター「フレア」へ、その他の児童は園庭に準備したビニールプールに入っていましたが、今年は新しいプールが出来、初めて入るプールに大喜びでした。プールサイドではスイカも食べ、夏気分を味わいました。このプールは、電源立地地域対策交付金事業で整備されました。

スイカ納得の味

志賀町産「能登すいか」を出荷

7月10日(水)から、「能登すいか」の出荷が始まりました。安津見のJA志賀西山集荷場では、早朝より15軒の生産農家からスイカが持ち込まれ、金沢、富山、京都の市場に出荷されます。

スイカの収穫は8月中旬まで続き、今年の出荷量は、72,000個を見込んでいます。JA西瓜部会長の土橋清紀さんは「今年は好天に恵まれ、大きさ、甘さともに十分な出来だ」と話しました。志賀町では、旬菜館や志賀町生産物直売所に出荷されています。



検査を受け箱詰めされるスイカ



退任した自衛官募集相談員と委嘱状を受けた相談員の皆さん

自衛官募集相談委員

感謝状贈呈と委嘱状交付式

7月10日(水)、志賀町自衛官募集相談員の高山美智子さん(代田・5期)と木坂孫信さん(和田・2期)が退任し、自衛隊石川地方協力本部長から感謝状が贈呈されました。

新たに自衛官募集相談員として、末岩清志さん(高浜町)と長屋睦子さん(里本江)が任命され、小泉町長より委嘱状が交付されました。

委嘱を受けた2人は、自衛官志願者に対して情報を提供したり、広報宣伝事務などを行います。

相談員の任期は委嘱の日から2年間です。

堀松綱引き祭り

今年は山方が勝利「豊作」

志賀町無形文化財の堀松綱引き祭りが、7月14日(日)に堀松の住吉神社で行われました。

住民が山方と浜方に分かれて綱を引き合い、山方が勝てば豊作、浜方が勝てば大漁と言われています。堀松青年団員が編み上げた長さ約80メートルの綱を神社前に担ぎ出し、綱を一気に伸ばすと、山方と浜方に分かれて住民が飛びついて綱を引き合い、辺りの熱気は最高潮に達しました。開始直後は浜方が優勢でしたが、山方が巻き返し2年連続で「豊作」という結果が出ました。



「よいしょ、よいしょ」の掛け声で綱を引き合う住民



波打ち際にお神酒をまき安全を祈願する様子

海水浴シーズンの安全を祈願

能登リゾートエリア増穂浦で浜開き

7月10日(水)に能登リゾートエリア増穂浦の海水浴場で、浜開きが行われました。

浜開き式典には、(株)志賀町振興サービスの社員や、地元区長、消防、警察などの関係者16人が出席し、玉串をささげました。(株)志賀町振興サービス代表取締役社長の小泉町長は「町民の協力で環境が守られている。安全で快適な海水浴場として多くの人に利用してほしい」と式辞し、お神酒を波打ち際にまき、海水浴シーズンの賑わいと安全を祈願しました。

志賀相撲教室生が町長に決意

わんぱく相撲全国大会出場へ

6月に金沢市で開かれた第17回わんぱく相撲石川ブロック大会に羽咋チームとして出場した志賀相撲教室の選手が、7月17日(水)に役場を訪れ、小泉町長に全国大会での健闘を誓いました。

全国大会には、奥田琢朗君(富来小・6年)、北野堅太君(高浜小・5年)が出場します。奥田君は「1回でも勝てるように頑張りたい」と話し、北野君は「頑張って優勝を目指します」と意気込みを語りました。小泉町長は「普段の力を十分に発揮してください」と励ましました。



全国大会に出場する奥田君(中央左)と北野君(中央右)